

レフ・トルストイ ポスター展

期間：2019年5月8日(水)～6月5日(水)

場所：東京外国語大学 研究講義棟 1階ガレリア



Tolstoy

1870年代、レフ・トルストイは「精神的な転機」を迎えました
そのいきさつや内容について、トルストイは『懺悔』というエッセイ
(1879-1882)に書いています。

本ポスター展では、「分水嶺」ともいえるこの転機を赤い帯で描き、
その前と後でトルストイの生涯が2つに分けられることを示しました。

転機においてトルストイは「私は何を？」という問いを自分に突きつけています。

今日私は何をより多くしたのだろうか、いいことか、悪いことか？

目的を達成するために私は何をすることができるだろうか？

長く自分のことを記憶してもらうために私は何をしたらだろうか？

私の子供たちが私の家を博物館に変えるよう私は何をしたらだろうか？

私たちがトルストイにならって、自分自身に「私は何を？」と問いかけることができるでしょう。

主催： 東京外国語大学 総合文化研究所

共催： 世界展開力強化事業(ロシア)本部

実施： 日露「トルストイ・ポスター展プロジェクト」チーム

後援： トルストイ博物館・自然保護区「ヤースナヤ・ポリャーナ」
(Музей-усадьба Л. Н. Толстого «Ясная Поляна»)

お問合せ： 沼野恭子研究室 nukyoko@tufs.ac.jp